

## スマート・ファイブ(1年決算型)

追加型投信/内外/資産複合

## 交付運用報告書

第10期(決算日2023年4月10日)

作成対象期間(2022年4月9日~2023年4月10日)

第10期末(2023年4月10日)	
基準価額	13,456円
純資産総額	54,001百万円
第10期	
騰落率	△1.1%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「スマート・ファイブ(1年決算型)」は、2023年4月10日に第10期の決算を行いました。

当ファンドは、主として、日本を含む世界の債券、株式、不動産投信、金上場投信などに投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

&lt;642061&gt;

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

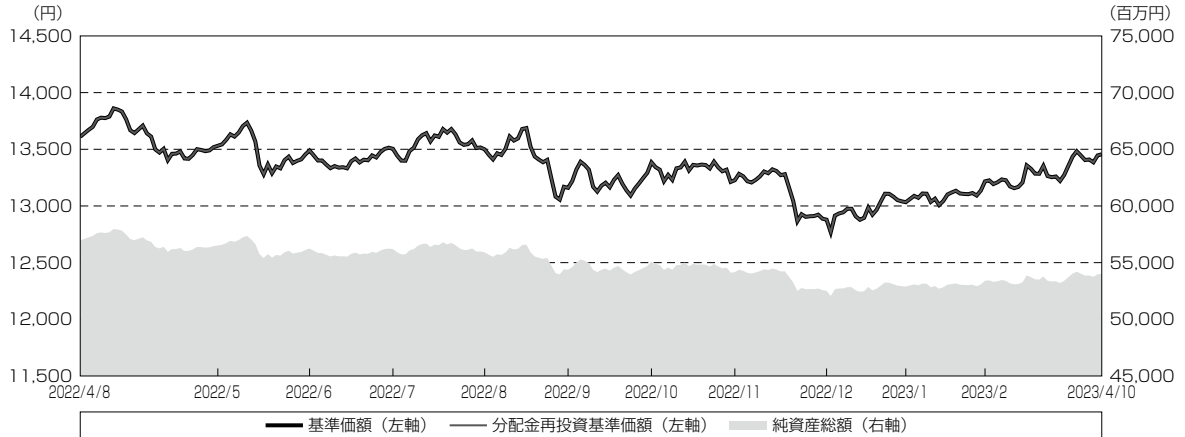
コールセンター 電話番号: 0120-25-1404  
午前9時~午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

（2022年4月9日～2023年4月10日）



期 首 : 13,610円  
 期 末 : 13,456円 (既払分配金 (税込み) : 0円)  
 騰 落 率 : △1.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2022年4月8日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界の債券、株式、不動産投信、金上場投信などに投資を行なう5つの投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。また、各資産の基準価額への影響度合いが、5資産の間で概ね均等になるような資産配分戦略（スマート・ファイブ戦略）を用いて、基準価額が、特定の資産から受ける影響を抑えることをめざしております。期間末における各資産の組入比率および当作成期間における投資対象先ファンドの騰落率は以下の通りです。

資産	投資対象先ファンド	組入比率	騰落率
日本国債	日本超長期国債マザーファンド	42.9%	△ 4.3%
高金利海外債券	高利回りソブリン債券インデックスファンド	19.5%	3.4%
グローバル高配当株式	グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス	10.2%	1.7%
グローバルREIT	グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）	8.4%	△10.2%
金	ゴールド・マザーファンド	17.5%	11.0%

<値上がり要因>

- ・「高利回りソブリン債券インデックスファンド」、「グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス」、「ゴールド・マザーファンド」の基準価額が値上がりしたこと。

<値下がり要因>

- ・「日本超長期国債マザーファンド」、「グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）」の基準価額が値下がりしたこと。

1万口当たりの費用明細

(2022年4月9日～2023年4月10日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
	円	%	
(a) 信託報酬	148	1.106	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	( 53)	(0.398)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	( 89)	(0.664)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（受託会社）	( 6)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.001	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（投資信託証券）	( 0)	(0.001)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（投資信託証券）	( 0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	1	0.010	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	( 0)	(0.002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	( 1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	( 1)	(0.004)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合計	149	1.117	
期中の平均基準価額は、13,340円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

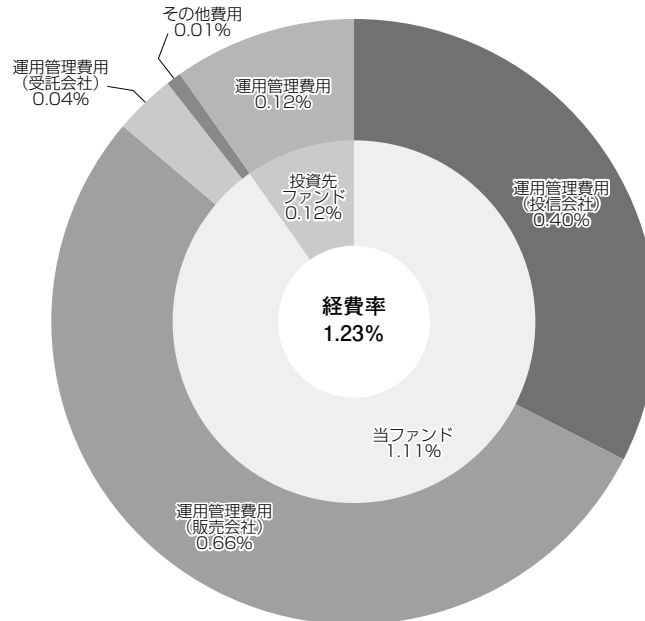
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.23%です。



(単位：%)

経費率(①+②)	1.23
①当ファンドの費用の比率	1.11
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.12

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2018年4月9日～2023年4月10日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2018年4月9日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年4月9日 決算日	2019年4月8日 決算日	2020年4月8日 決算日	2021年4月8日 決算日	2022年4月8日 決算日	2023年4月10日 決算日
基準価額 (円)	12,150	12,590	12,599	13,212	13,610	13,456
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	3.6	0.1	4.9	3.0	△1.1
純資産総額 (百万円)	22,485	37,763	51,097	57,784	56,964	54,001

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

**投資環境**

（2022年4月9日～2023年4月10日）

**（市況）**

日本国債市場は下落しました。米国や欧州の金融当局による引き締め姿勢や、国内物価の上昇を受けて2022年6月まで軟調に推移した後、世界景気の悪化懸念を背景にいったん上昇に転じましたが、8月以降、欧米での金融引き締めの継続が改めて意識されたことで10月にかけて下落を続けました。その後、米国の金融当局による利上げペースの鈍化観測が強まった場面で下げ渋りましたが、12月以降は日銀が国内長期金利の許容変動幅を拡大したことで金融緩和の縮小が意識され、2023年1月にかけて再び売り圧力が高まりました。その後は、金融緩和を主導してきた黒田総裁の任期満了を控え、日銀の金融政策への思惑が交錯するなか、3月に入ると米国の銀行の破綻を発端にグローバルな金融システム不安が広まり、投資家心理が悪化したことから、期間末にかけて債券が買い戻される展開となりました。

高金利海外債券市場では、先進国債券市場は下落しました。世界的な高インフレや主要金融当局の引き締め姿勢を受け、2022年6月にかけて軟調に推移しました。その後、急速な利上げが世界景気の減速を招くとの懸念が強まったことで、相場はいったん下げ幅を縮めましたが、8月以降、欧米の金融当局による積極的な利上げや、英国での財政政策の混乱などが嫌気され、10月まで再び下落基調が続きました。その後は、物価動向をにらみながら、欧米での利上げペース鈍化への思惑が広がった場面では買いが優勢となる一方、利上げ長期化観測が強まった場面では売りが優勢となるなど、期間末にかけてほぼ1ヵ月ごとに上昇と下落を繰り返す相場展開となりました。一方、新興国債券市場は上昇しました。米国での急速な利上げやウクライナ情勢をにらみ弱含みに推移した後、2022年7月に米国長期金利の上昇が一服した場面で買いが優勢となりました。8月に入り、世界的な金融引き締めを背景に再び下落傾向に転じましたが、10月以降は、欧米の金融当局による利上げ幅の縮小への思惑や、中国における経済活動の正常化への期待などを受け、概ね堅調に推移しました。

グローバル高配当株式市場は下落しました。欧米の金融当局の引き締め姿勢や、ウクライナ情勢、世界的な物価高を背景に2022年6月にかけて下落しました。その後、米国の金融当局による利上げ加速観測が後退した場面で株価はいったん上昇しましたが、8月に入ると利上げ継続への警戒感が再び強まり反落しました。その後、11月にかけては、欧米での利上げペースの鈍化観測が広がったことを好感して上昇に転じましたが、12月以降は、欧米における利上げ動向や、米国の銀行の破綻による金融システムへの影響などをにらみながら、上昇と下落を繰り返す相場展開となりました。

グローバルREIT市場は下落しました。世界的な高インフレおよび金融引き締めの環境下、2022年6月にかけて下落した後、主要各国の長期金利が低下した場面でいったん反発しましたが、欧米の金融当局の積極的な引き締め姿勢をにらみ、8月以降、再び下落に転じました。10月以降は、欧米の金融当局が利上げペースを緩めるとの観測が広がったことを受け、2023年1月にかけて戻り歩調を辿りましたが、その後、期間末にかけては、米国での利上げ長期化観測が強まったことや、欧米を中心とした金融システム不安の広がりなどから、概ね軟調に推移しました。

金市場は上昇しました。世界的に金融引き締めが進み長期金利が上昇したことや、為替市場でアメリカドルが主要通貨に対し上昇したことが嫌気され、期間の前半は総じて軟調な動きが続きました。2022年11月以降は、米国で利上げペースの鈍化観測を背景に長期金利が低下したことや、アメリカドル相場が下落基調を強めたことが買い材料となり、2023年1月にかけて好調に推移しましたが、2月においては一転して、米国での利上げの長期化が改めて意識されたことで長期金利が上昇するなか、

再びアメリカドル高が進んだことが嫌気され、売りが膨らみました。その後、期間末にかけては、米国の銀行の破綻などにより逃避買いが強まり、上昇基調で推移しました。

### （為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



## 当ファンドのポートフォリオ

（2022年4月9日～2023年4月10日）

### （当ファンド）

スマート・ファイブ戦略に基づき、投資対象とする各資産の基準価額への影響度が均等となることをめざして、毎月末の株式市場、債券市場、為替市場、REIT市場、金市場のボラティリティ（価格変動性）および相関関係の状況を勘案して配分比率を決定しました。配分比率は、日本国債が43%～52%、他の4資産は概ね5%～21%の範囲で推移しました。

当該期間における実績リスクへの各資産の寄与度（基準価額の変動率への影響度）は、日本国債が36%と高め、高金利海外債券が20%となった一方で、金、グローバル高配当株式、グローバルREITがそれぞれ15%、14%、14%と低めになり、寄与度が一部資産へ偏りました。ただし、スマート・ファイブ設定時点（2013年7月）からの寄与度については、各資産とも17%から23%の間に概ね収まっており、スマート・ファイブ戦略は功を奏しました。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

（2022年4月9日～2023年4月10日）

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

**分配金**

（2022年4月9日～2023年4月10日）

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第10期
	2022年4月9日 ～2023年4月10日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,067

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針****（当ファンド）**

引き続き、投資対象先ファンドを通じて、5つの資産へ分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざします。各資産への配分については、スマート・ファイブ戦略に基づき、各資産のリスク水準に加え、各資産間の相関性なども考慮して、各資産の基準価額の影響度が均等となることをめざして、資産配分を決定する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## お知らせ

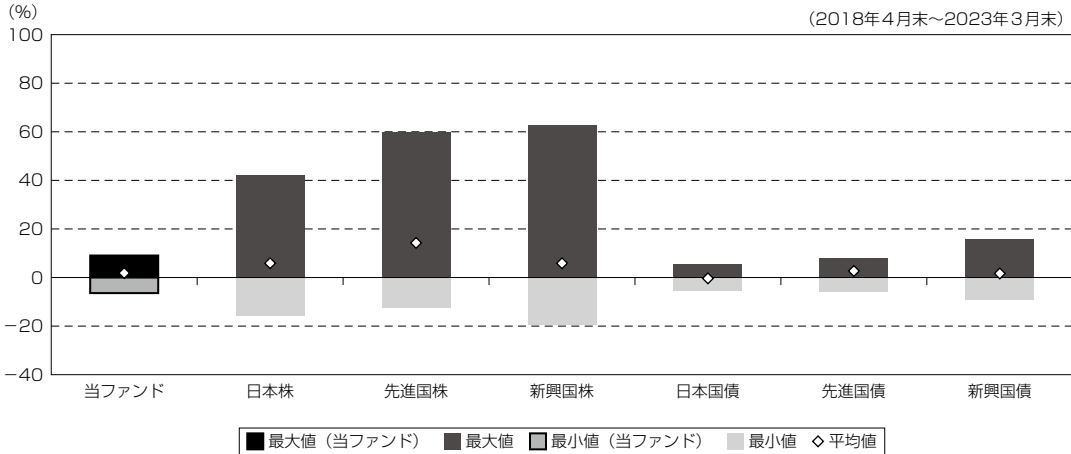
2022年4月9日から2023年4月10日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2013年7月16日から2028年4月10日までです。
運用方針	主として、日本を含む世界の債券、株式、不動産投信、金地金価格への連動をめざす上場投資信託証券などに投資を行なう投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「日本超長期国債マザーファンド」受益証券 「高利回りソブリン債券インデックスファンド」受益証券 「グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス」受益証券 「グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）」受益証券 「ゴールド・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	投資対象先ファンドを通じて、5つの資産へ分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。各資産への配分については、スマート・ファイブ戦略に基づき、各資産のリスク水準に加え、各資産間の相関性なども考慮して、各資産の基準価額の影響度が均等となることをめざして、資産配分を決定する方針です。
配分方針	毎決算時に、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 なお、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	9.1	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
最小値	△6.4	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△9.4
平均値	1.8	5.9	14.3	5.9	△0.3	2.7	1.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。  
 (注) 2018年4月から2023年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。  
 (注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。  
 (注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX、配当込）  
 先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）  
 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）  
 日本国債：NOMURA-BPI国債  
 先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）  
 新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ヘッジなし、円ベース）  
 (注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数（TOPIX、配当込）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

（2023年4月10日現在）

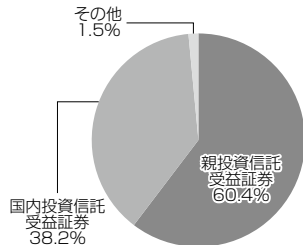
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第10期末 %
日本超長期国債マザーファンド	42.9
高利回りソブリン債券インデックスファンド	19.5
ゴールド・マザーファンド	17.5
その他	18.6
組入銘柄数	5銘柄

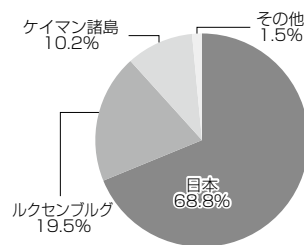
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

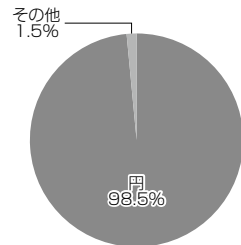
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）国内投資信託受益証券には外国籍（邦貨建）の受益証券を含めております。

（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

### 純資産等

項目	第10期末
	2023年4月10日
純資産総額	54,001,741,321円
受益権総口数	40,133,088,930口
1万口当たり基準価額	13,456円

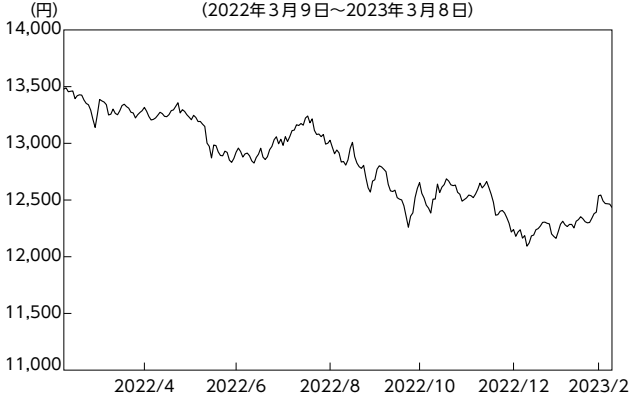
（注）期中における追加設定元本額は960,232,388円、同解約元本額は2,683,527,467円です。

組入上位ファンドの概要

日本超長期国債マザーファンド

【基準価額の推移】

(2022年3月9日～2023年3月8日)



【1万円当たりの費用明細】

(2022年3月9日～2023年3月8日)

該当事項はございません。

【組入上位10銘柄】

(2023年3月8日現在)

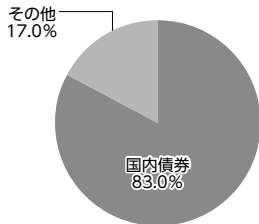
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率 %
1	第15回利付国債（40年）	国債証券	円	日本	8.1
2	第62回利付国債（30年）	国債証券	円	日本	6.2
3	第63回利付国債（30年）	国債証券	円	日本	6.0
4	第64回利付国債（30年）	国債証券	円	日本	5.9
5	第163回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	5.5
6	第153回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	5.1
7	第151回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	5.0
8	第152回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	5.0
9	第154回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	5.0
10	第159回利付国債（20年）	国債証券	円	日本	4.6
	組入銘柄数		17銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

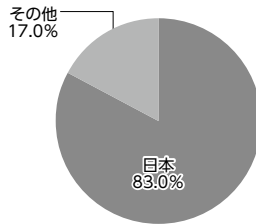
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

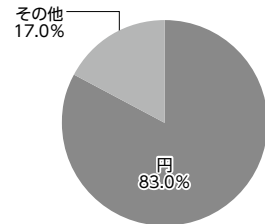
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

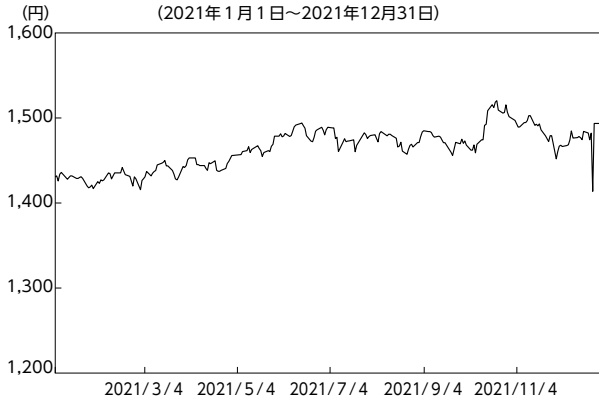
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

高利回りソブリン債券インデックスファンド

【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万円当たりの費用明細】

(2021年1月1日～2021年12月31日)  
当該期間の1万円当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

(2021年12月31日現在)

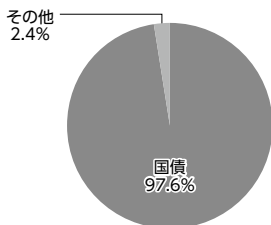
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率 %
1	MEXICAN BONOS 5.75% 15-05/03/2026	国債	メキシコペソ	メキシコ	1.3
2	MEXICAN BONOS 8% 19-05/09/2024	国債	メキシコペソ	メキシコ	1.1
3	CANADA-GOVT 2% 17-01/12/2051	国債	カナダドル	カナダ	1.1
4	MEXICAN BONOS 7.5% 07-03/06/2027	国債	メキシコペソ	メキシコ	1.1
5	MEXICAN BONOS 8.5% 09-31/05/2029	国債	メキシコペソ	メキシコ	1.0
6	MEXICAN BONOS 7.75% 11-29/05/2031	国債	メキシコペソ	メキシコ	1.0
7	MEXICAN BONOS 8% 03-07/12/2023	国債	メキシコペソ	メキシコ	1.0
8	MEXICAN BONOS 10% 05-05/12/2024	国債	メキシコペソ	メキシコ	0.9
9	CANADA-GOVT 0.5% 20-01/09/2025	国債	カナダドル	カナダ	0.9
10	CANADA-GOVT 1.25% 19-01/06/2030	国債	カナダドル	カナダ	0.9
組入銘柄数			270銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

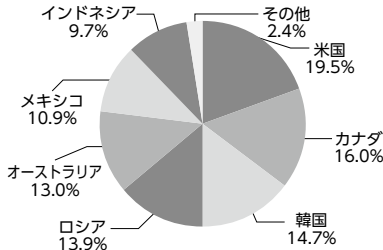
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

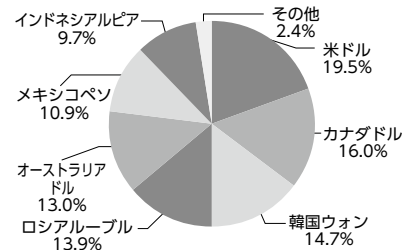
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



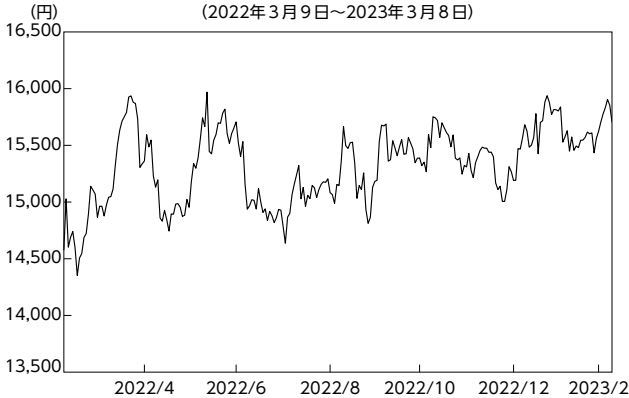
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

ゴールド・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2022年3月9日～2023年3月8日)



【1万口当たりの費用明細】

(2022年3月9日～2023年3月8日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	1 (1)	0.005 (0.005)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.001 (0.001)
(c) その他費用 (保管費用)	2 (2)	0.010 (0.010)
合計	3	0.016

期中の平均基準価額は、15,298円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2023年3月8日現在)

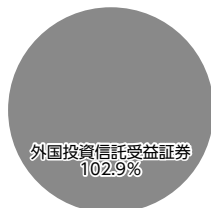
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	ISHARES GOLD TRUST-ETF	投資信託受益証券	アメリカドル	アメリカ	49.0
2	SPDR GOLD MINISHARES TRUST-ETF	投資信託受益証券	アメリカドル	アメリカ	40.0
3	SPDR GOLD TRUST-ETF	投資信託受益証券	アメリカドル	アメリカ	7.1
4	ISHARES GOLD TRUST MICRO-ETF	投資信託受益証券	アメリカドル	アメリカ	6.8
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
	組入銘柄数		4銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

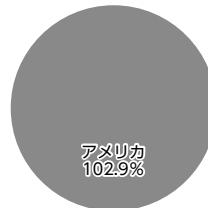
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

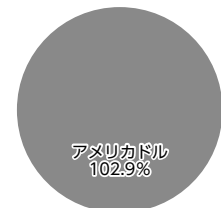
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。